

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<14週> インフルエンザ - 定点当たり報告数は減少を続け、2.0を下回った / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<髄膜炎菌性髄膜炎>

髄膜炎菌 *Neisseria meningitidis* によって引き起こされる感染症であり、我が国での報告は年間10例前後である。



病原体情報  
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス



速報  
P.6

重症急性呼吸器症候群(SARS)の「可能性例」国別累積報告数



海外感染症情報  
P.7-8

SARS流行状況 - 更新28



感染症の話  
P.9-11

咽頭結膜熱

発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症で、プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれる。



読者のコーナー  
P.12



グラフ総覧(14週)  
P.13-19



14週のデータ  
P.20-28



# 発生動向総覧

## 第14週コメント 4月10日集計分

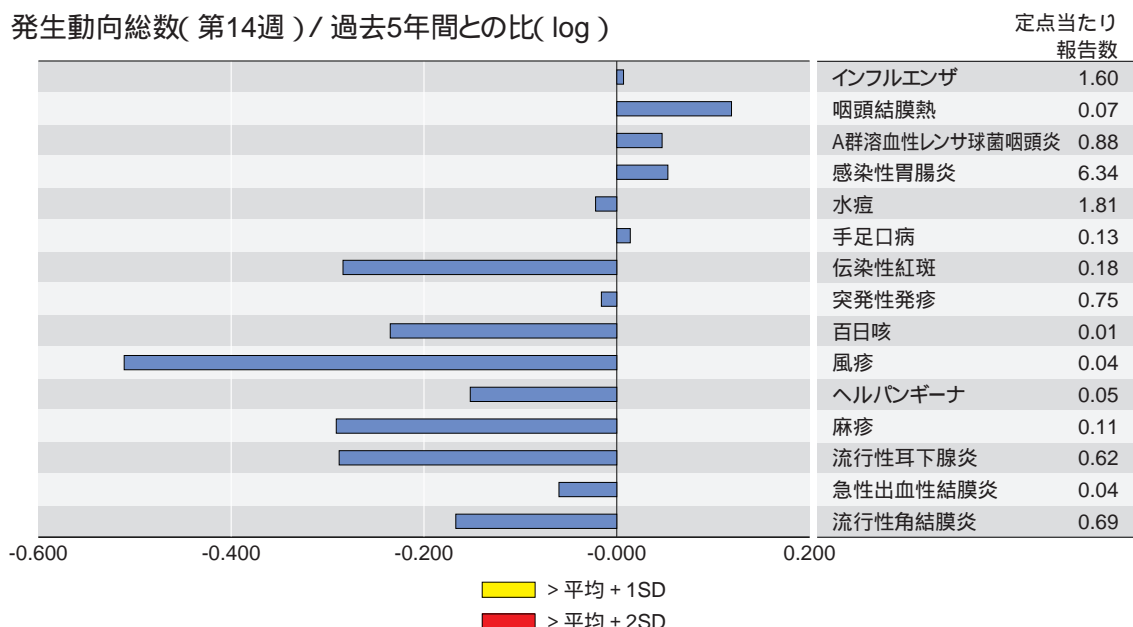
### 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢6例(推定感染地域: 国内2例、インド4例)  
パラチフス2例(推定感染地域: ネパール、タイ各1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症9例(うち有症者5例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢2例(推定感染地域: いずれも国内)、エキノкокス症1例(多包条虫)  
オウム病1例(推定感染源: インコ)、クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性)  
ジアルジア症1例(推定感染地域: インド)、髄膜炎菌性髄膜炎1例(血清型不明。47歳)  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(菌検出検体: 血液。遺伝子型未定)  
急性ウイルス性肝炎13例  
A型8例(推定感染地域: 国内7例、中国1例)  
B型5例(推定感染経路: 性的接触3例、不明2例)  
後天性免疫不全症候群10例(無症候7例、AIDS 3例)  
推定感染経路: 性的接触10例(異性間1例、同性間8例、異性間/同性間1例)  
推定感染地域: 国内8例、国内/タイ1例、不明1例  
梅毒5例(早期顕症4例、無症候性1例)  
マラリア2例 熱帯熱マラリア2例(推定感染地域: ブラジル、ナイジェリア各1例)

### 定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去4年間の同時期の平均の約2倍あり、都道府県別では依然として岡山県(1.2)が多い。他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて特別多いものはない。インフルエンザの定点当たり報告数は減少を続け、2.0を下回った。すべての都道府県で減少し、定点当たり報告数5.0以上の都道府県は鳥取県(6.5)、秋田県(6.3)、山口県(5.8)、宮崎県(5.3)だけとなった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少しているが、例年よりわずかに多い。感染性胃腸炎も減少し、定点当たり報告数10.0を上回る都道府県は宮崎県(14.4)、鳥取県(12.9)など8県に減少した。水痘の定点当たり報告数はほぼ横ばいで推移しており、都道府県別では、沖縄県(6.9)と宮崎県(4.5)からの報告が引き続き多い。手足口病、風疹、麻疹の定点当たり報告数はいずれもわずかに増加した。手足口病は引き続き宮崎県(1.5)が多い。風疹は依然として岡山県(0.7)からの報告が多い。麻疹(成人麻疹を除く)は、引き続き宮崎県(1.1)、福島県(1.0)が多い。同時に、成人麻疹の定点当たり報告数も増加傾向にあり、都道府県別では宮崎県(0.4)、福島県(0.3)、東京都(0.3)、神奈川県(0.3)が多い。

発生動向総数(第14週)/過去5年間との比(log)

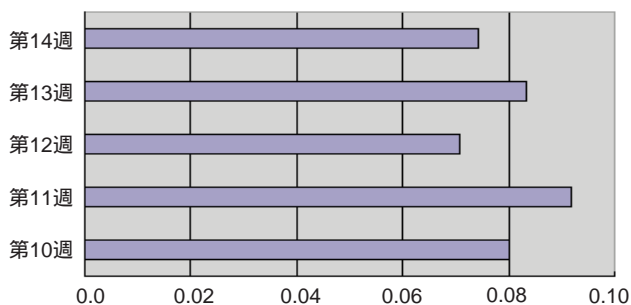


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

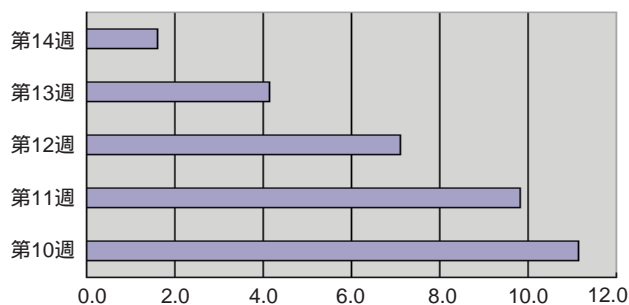
## 最近の注目疾患－5週間の動き

咽頭結膜熱、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。

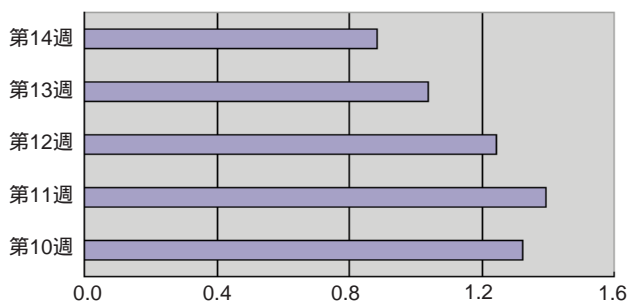
咽頭結膜熱



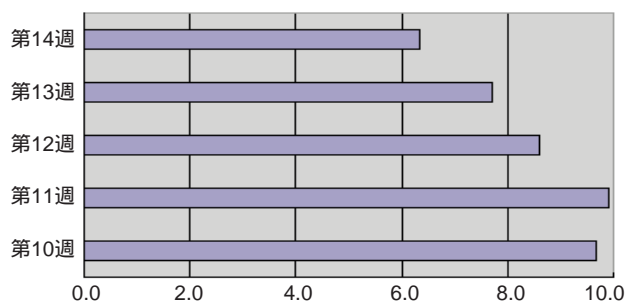
インフルエンザ



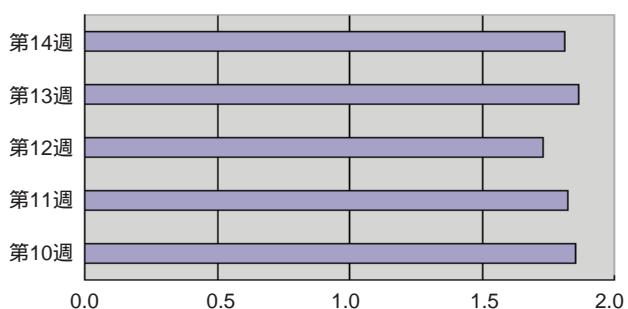
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



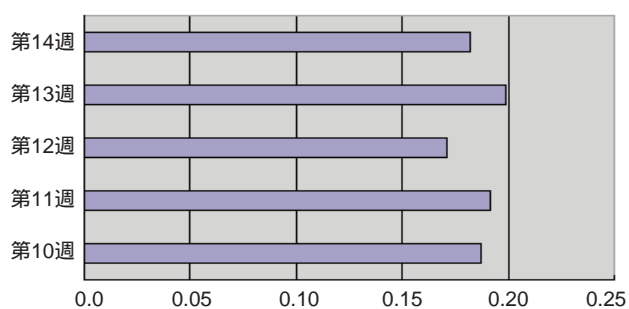
感染性胃腸炎



水痘



伝染性紅斑



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



# 注目すべき感染症

## 髄膜炎菌性髄膜炎

髄膜炎菌性髄膜炎は髄膜炎菌 *Neisseria meningitidis* によって引き起こされる感染症であるが、この菌は少なくとも13種類の血清群に分類されている。起炎菌として分離されるものはA, B, C, Y, W-135が多く、なかでもA, B, Cを合わせると全体の90%以上を占める。

米国や英国では年間2,000例前後の患者が報告されており、公衆衛生上重要な疾患となっている。一方、我が国での報告は少なく年間10例前後であるが( 図参照 ) 今年に入って既に8例の報告がある。

諸外国ではAあるいはCの単独、それらの2群混合、A, C, Y, W-135の4群混合の精製莢膜多糖体ワクチンが使用されている。しかし、2歳以下の幼児には効果が低く、大人でも数年で効果がなくなるとされている。最近ではC群髄膜炎菌について不活化ジフテリアトキシンに結合させた結合型ワクチンが開発され、英国で導入されて大きな成果を挙げている。しかし、B群髄膜炎菌に対するワクチンは開発されていない。

我が国では今のところ髄膜炎菌のワクチンは導入されていない。国内で患者から分離された菌の血清群を調べることは、菌の由来やワクチン導入に関して貴重なデータとなるため、検査可能な地研あるいは国立感染症研究所細菌第一部で検査することが望まれる。

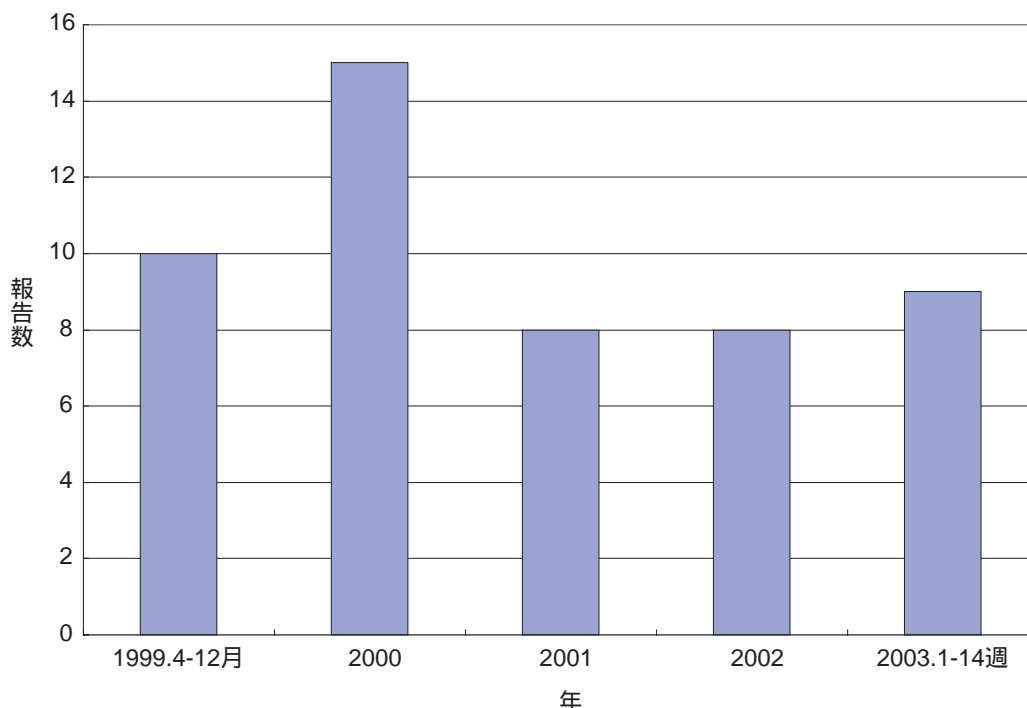
欧米では感染者の家族など、濃厚接触者にはリファンピシンやシプロフロキサシンなどの予防内服が行われており、我が国でも積極的に接触者の確認や予防内服が行われるべきである。

以下のガイドラインも参照のこと。

米国 [http://www.cdc.gov/ncidod/dbmd/diseaseinfo/meningococcal\\_a.htm](http://www.cdc.gov/ncidod/dbmd/diseaseinfo/meningococcal_a.htm)

英国 [http://www.phls.co.uk/topics\\_az/meningo/advice/mentopic.htm](http://www.phls.co.uk/topics_az/meningo/advice/mentopic.htm)

図. 髄膜炎菌性髄膜炎の年別報告数( 1999年4月 ~ 2003年第14週 )





## 病原体情報

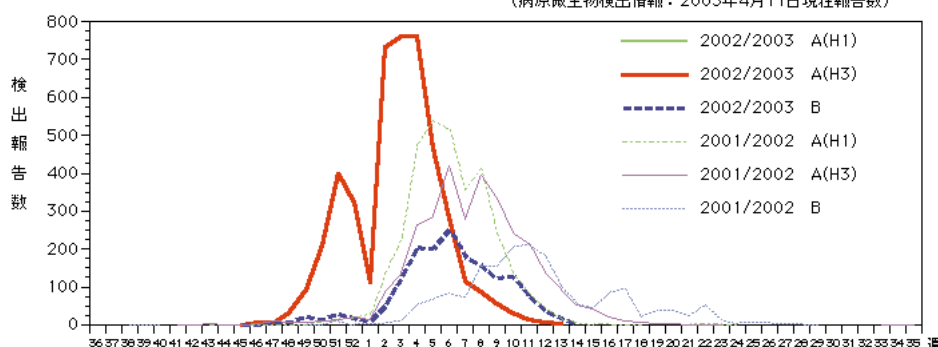
\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。  
( 2003年4月11日現在報告分 )

### インフルエンザウイルス 2002/2003シーズン

AH3型ウイルスは、2003年第4週( 762件 )をピークに以後減少している。これまでに計4,497件 ( PCRのみの検出30件を含む )報告され、このうちN型別された238件はすべてN2であった。B型ウイルスは第2週より増加し始め、第6週( 249件 )がピークとなった。第7週以降はB型がAH3型ウイルスを上回っている。これまでに計1,641件( PCRのみの検出17件を含む )報告されている。AH1型ウイルスの報告はない。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報：2003年4月11日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



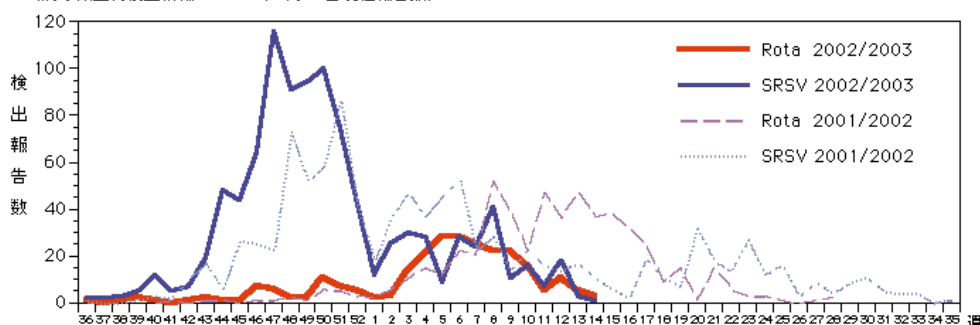
Infectious Agents Surveillance Report

### 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2002/2003シーズン

小型球形ウイルス( SRSV )は、昨シーズン同様2003年の年明け以降は減少しているが、第8週に滋賀県と岡山県から集団発生例が報告され、検出報告が増加している。また、第12週には岡山県における集団発生例から15件が報告されている。検出報告は計983件で、内訳はノーウォーク様ウイルス( NLV )genogroup II が698件と大部分を占め、その他NLV genogroup I が38件、NLV genogroup不明が209件、サッポロ様ウイルス( SLV )が15件、電顕による検出が23件である。ロタウイルスも昨シーズンと同じパターンで推移し、2003年第3週より報告が増加している。これまでにA群が241件、C群が10件( うち滋賀県の集団発生例が5件 )、群不明( 電顕による検出 )が14件報告されている。

週別SRSV&ロタウイルス検出報告数の推移、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報：2003年4月11日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



## 重症急性呼吸器症候群(SARS)の「可能性例」国別累積報告数<sup>a</sup>

(平成14年11月1日<sup>b</sup>～平成15年4月17日)

国名	累積症例数	WHOによる前回の更新以降の新規症例数	転帰		地域内伝播 <sup>d</sup>	最終報告日
			死亡者数	回復者数 <sup>c</sup>		
オーストラリア	3	3	0	3	なし	4月17日
ブラジル	2	0	0	0	なし	4月16日
カナダ	126	23	12	46	有	4月17日
中国	1457	25	65	1107	有	4月17日
香港(中国特別行政区) <sup>e</sup>	1297	29	65	272	有	4月17日
台湾(中国)	27	0	0	10	有	4月16日
フランス	5	0	0	1	なし	4月17日
ドイツ	6	0	0	4	なし	4月17日
インド	1	1	0	0	なし	4月17日
インドネシア	1	0	0	0	なし	4月12日
イタリア	3	0	0	2	なし	4月17日
日本	2	1	0	0	なし	4月17日
クウェート	1	0	0	0	なし	4月9日
マレーシア	5	0	1	0	なし	4月16日
モンゴル	3	3	0	3	なし	4月17日
フィリピン	1	0	0	1	なし	4月14日
アイルランド共和国	1	0	0	1	なし	4月17日
ルーマニア	1	0	0	1	なし	4月17日
シンガポール	167	5	15	91	有	4月17日
南アフリカ	1	0	0	0	なし	4月9日
スペイン	1	0	0	0	なし	4月17日
スウェーデン	1	0	0	0	なし	4月17日
スイス	1	0	0	1	なし	4月17日
タイ	8	0	2	5	なし	4月17日
英国	6	0	0	3	有	4月17日
米国	199	6	0	未入手	有	4月16日
ベトナム	63	0	5	46	有	4月17日
<b>計</b>	<b>3,389</b>	<b>96</b>	<b>165</b>	<b>1,597</b>		

[注]・累積症例数は死亡数を含む

・重症急性呼吸器症候群(SARS)は除外診断であるので、症例の報告状況は時々刻々と変わりうる。従って、以前に報告された症例でも、その後の調査と経過観察により削除される可能性がある。

- a 国ごとの症例定義の違いにより、「可能性例」は米国を除くすべての国から報告されており、米国では調査中の疑わしい例を報告している。
- b 現在はSARSと確認された中国の異型肺炎の症例を含むために、サーベイランス期間の開始日を平成14年11月1日に変更した。
- c 各国の公衆衛生当局が、「退院」あるいは「回復」したと報告した症例を含む。
- d 各国の公衆衛生当局は、地域内において感染伝播鎖の確認された地域をWHOに報告している。これらは、伝播確認地域のリストに示されている。
- e 香港における死亡例はベトナムから医療移送された1例を含む。

(WHOホームページより)





## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### SARS流行状況 - 更新28

WHO/CSR 2003年4月12日

WHOは11日に、北京を新たなSARS流行地に追加した。この地域では二次感染が起きていることから、追加がなされた。最大の関心は、ハイリスクの医療従事者や患者と対面接触した人以外で患者が発生しているかどうかである。

北京に加え、広東省、香港、山西省、台湾、トロント、シンガポール、ハノイが流行地としてリストアップされている。

SARS患者が報告されている他のほとんどの国では、SARS患者は少数の輸入例で、二次感染が起きていないか、あるいは、非常に限定されているに過ぎない。

#### 【中国】

WHOの5人の専門家グループが北京の衛生省に招かれ、北京のSARS状況を再検討した。WHOはSARS管理、特に患者報告と接触者追跡調査に関心を寄せている。

10日に開始された会議は来週一杯継続される予定である。目的は、サーベイランスと報告システム、患者治療、感染制御、検査の強化にある。

本日、中国からの患者報告はなかった。

#### 【香港】

香港は本日、合計で35名の死亡者を含む1,108名の感染患者を報告した。昨日から、49名の新規患者がSARSの症状を呈し入院し、3名が死亡した。新規入院患者のうち3名は医療従事者で、11名はアモイガーデン住人であった。

香港の患者の大多数は病院と、アモイガーデンで密集して居住していた住人である。当局は、Eブロックの単一の建物の単一の棟での集中発生の理由を説明しうる環境要因を調査している。また、第2の住宅での集団発生との関連を調べている。

衛生署は本日、SARSを発症した住人の居住していたビルの詳細なリストをウェブサイトに公開した。

#### 【シンガポール】

シンガポールは本日、累計で147名のSARS患者を報告した。このうち60名は入院中で、15名は集中治療中である。最近の関心は、シンガポール総合病院と、Ton Tock Seng病院での医療従事者、入院患者、見舞客のSARS患者発生に集まっている。

保健当局が、病院内流行のほとんどの患者との関連がある「super-spreader」1名の接触者調査を行っているが、WHOはこれに協力している。この患者はTon Tock Seng病院で3月5～20日に治療を受け、そこで感染したと考えられている。その後この患者は、3月24日にシンガポール総合病院に転院した。この患者は、4月2日に隔離されるまでに、非常に非定型の臨床経過を示した。この隔離の遅れが、この患者からの多数の二次感染が発生した理由の一つとして考えられている。

シンガポール総合病院、Ton Tock Seng病院、その他のシンガポール内の病院での感染を明らかにするための調査が続けられている。

**【ベトナム】**

ベトナムでは1名の新規患者が報告され、1名が除外された。累計患者は62名で、昨日と同じである。

**【カナダ】**

ヘルスカナダは101名の可能性例を報告した。全てのカナダ人患者は、アジアを旅行したか、家庭内か医療機関でのSARS患者との接触者である。オンタリオ州からは98名の疑い患者が報告された。ブリティッシュコロンビアからは3名の疑い例が報告された。

**【患者数・流行国更新】**

本日までに、累計で119名の死亡者を含む2,960名の患者が19カ国から報告された。昨日から、70名の患者と3名の死亡者の増加である。





## 感染症の話

### 咽頭結膜熱

咽頭結膜熱(pharyngoconjunctival fever, PCF)は発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症であり、数種の血清型のアデノウイルスによる。季節的に地域で流行することもあり、また小規模アウトブレイクとしても、散発的にも発生する。プールでの感染も多く見られることから本邦ではプール熱とも呼ばれる。

#### 疫学

本疾患の原因であるアデノウイルスは、特に季節特異性がなく年間を通じて分離される。しかしながら、疾患としての咽頭結膜熱は通常夏期に地域全体で流行し、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークを形成する。本邦の感染症発生動向調査からみると、過去は夏期に流行の山がみられ、数年おきに流行規模が大小していたが、1999年より秋と春にも小さな山がみられるようになってきている。小規模アウトブレイクとして起こる場合には、季節を問わず、多くはプールを介した発生であるが、病院や施設、デイケアセンターなどでも報告されている。季節性流行の場合は、学童年齢の罹患が主であるとされているが、感染症発生動向調査での罹患年齢からは、5歳以下が約6割を占めている。

感染経路は、プールを介した場合には、汚染した水から結膜への直接侵入と考えられている。また、プールでのアウトブレイクの調査結果からは、タオルを共用したことが感染のリスクを高めたとの報告もある。それ以外では通常飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であり、結膜あるいは上気道からの感染である。

#### 病原体

アデノウイルスは正20面体構造をとるDNAウイルスであり、エンベロープを有しない。51種類の血清型が知られており、咽頭炎、扁桃炎、肺炎などの呼吸器疾患、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎などの眼疾患、胃腸炎などの消化器疾患、出血性膀胱炎などの泌尿器疾患から、肝炎、膵炎から脳炎にいたるまで、多彩な臨床症状を引き起こす。咽頭結膜熱の流行をおこすのは多くは3型、あるいは4型、7型、また2型、11型、14型もみられる。散発例としては、1～8型、14、19、13/30型の報告がある。逆に、これらの血清型のアデノウイルスが感染しても、必ずしも咽頭結膜熱の症状を来すとも限らない。乳幼児の急性気道感染症の10%前後がアデノウイルス感染症と言われ、アデノウイルスは小児で重要な病原体である。

#### 臨床症状

発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭炎による咽頭痛、結膜炎にともなう結膜充血、眼痛、羞明、流涙、眼脂を訴え、3～5日間程度持続する。眼症状は一般的に片方から始まり、その後他方にも出現する。また、結膜の炎症は下眼瞼結膜に強く、上眼瞼結膜には弱いとされる。眼に永続的な障害を残すことはない。また、頸部特に後頸部のリンパ節の腫脹と圧痛を認めることがある。潜伏期は5～7日とされている。

アデノウイルスの血清型のうち、7型は心肺機能低下、免疫機能低下等の基礎疾患のある人、乳幼児、老人では重篤な症状となり、呼吸障害が進行したり、さらに細菌の二次感染も併発しやすいことがある。検査所見として特徴的なことは、血清LDHの異常高値、血球減少傾向、ならび

に高サイトカイン血症である。高サイトカイン血症を示唆するフェリチン、 $\alpha$ 2ミクログロブリンなどの上昇を伴う場合には、ステロイド剤の適応を含め、早急な対応が必要である。

#### 病原診断

確定診断には、患者の鼻汁、唾液、喀痰、糞便、拭い液や洗浄液、胸水、髄液などを検査材料としてウイルス分離を行うか、あるいはウイルス抗原を検出する。最近、ラテックス凝集(LA)反応や酵素抗体(ELISA)法での抗原検出キットが市販され、早期診断に使用されているが、血清型別の判定はできない。しかしながら、近年遺伝子診断(PCR法や制限酵素切断法など)が可能となり、迅速診断に有用で、簡便かつ型別判定が可能である。

血清学的診断では急性期と回復期のペア血清を用い、赤血球凝集阻止反応(HI)、補体結合反応(CF)、中和反応(NT)などが行われる。CFは感度の点でやや劣り、しかも血清型の特異性はできない。NTおよびHIなどは型特異的な測定法であるとされるが、実際には交叉反応があり、型の特異性が困難なこともある。

#### 治療・予防

特異的治療法はなく、対症療法が中心となる。眼症状が強い場合には、眼科的治療が必要になることもある。

また、造血幹細胞移植後を含む免疫抑制状態にある患者での重症アデノウイルス感染症の際に、抗ウイルス剤のリバビリンが有効であったという報告があるが、一方無効であったとの報告も散見され、一定の見解は得られていない。2001年のClin. Infect. Dis. にBordigoniらが、造血幹細胞移植後303名のレトロスペクティブ調査の結果を報告しているが、35名のアデノウイルス感染症で、治療として用いたリバビリンとピダラビンは効果がなく、シドフォビルあるいはドナーの白血球輸注を早期に試みる方法を報告している。しかし、リバビリンとシドフォビルは我が国では入手が困難な状況である。

予防としては、感染者との密接な接触を避けること、流行時にうがいや手指の消毒を励行することなどである。消毒法に関しては、手指に対しては流水と石鹼による手洗い、および90%エタノール、器具に対しては煮沸、次亜塩素酸ソーダを用いる。ただし、エンベロープを持たないアデノウイルスにおいては、消毒用エタノールの消毒効果はエンベロープを持つウイルス(たとえば、ヘルペスウイルスなど)に比較すると弱いとされる。逆性石鹼、イソプロパノールには抵抗性なので注意を要する。7型による感染症では、心肺機能に基礎疾患を有する小児で重症化の危険性が高く、特に院内感染対策上重要である。

プールを介しての流行に対しては、水泳前後のシャワーなど一般的な予防方法の励行が大切であるが、ときにはプールを一時的に閉鎖する必要もある。

### 感染症法における取り扱い

咽頭結膜熱は4類感染症定点把握疾患であり、全国約3,000カ所の小児科定点医療機関から毎週報告がなされている。報告の基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準をすべてを満たすもの

1. 発熱・咽頭発赤
2. 結膜充血

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

### 学校保健法における取り扱い

学校保健法では、第二種伝染病に位置づけられており、主要症状が消退した後2日を経過するまで出席停止とされている。ただし、病状により伝染の恐れがないと認められたときはこの限りではない。

### 【文献】

- 1) Cherry JD. Pharyngoconjunctival fever. In Text book of pediatric infectious diseases 4th ed. WB Saunders 1998. 158-161.
- 2) Cockburn TA, Rowe Wp, Huebner RJ. Relationship of the 1951 Greeley, Colorado, outbreak of conjunctivitis and pharyngitis to type 3 APC virus infection. AM J Hyg 63:250-253, 1956.
- 3) Faden H, Gallagher M, Ogra P, et al. Nosocomial outbreak of pharyngoconjunctival fever due to adenovirus type 4: New York. MMWR 27:49, 1978.
- 4) Anonymous. アデノウイルス7型 1995.4 ~ 1996.12. 病原微生物検出情報月報 . Vol.18 No.4 ( No.206 ), 1997.
- 5) Anonymous. アデノウイルス 1995 ~ 1999. 病原微生物検出情報月報 . Vol.21 No.2( No.240 ), 2000.

( 国立感染症研究所感染症情報センター 谷口清州 )



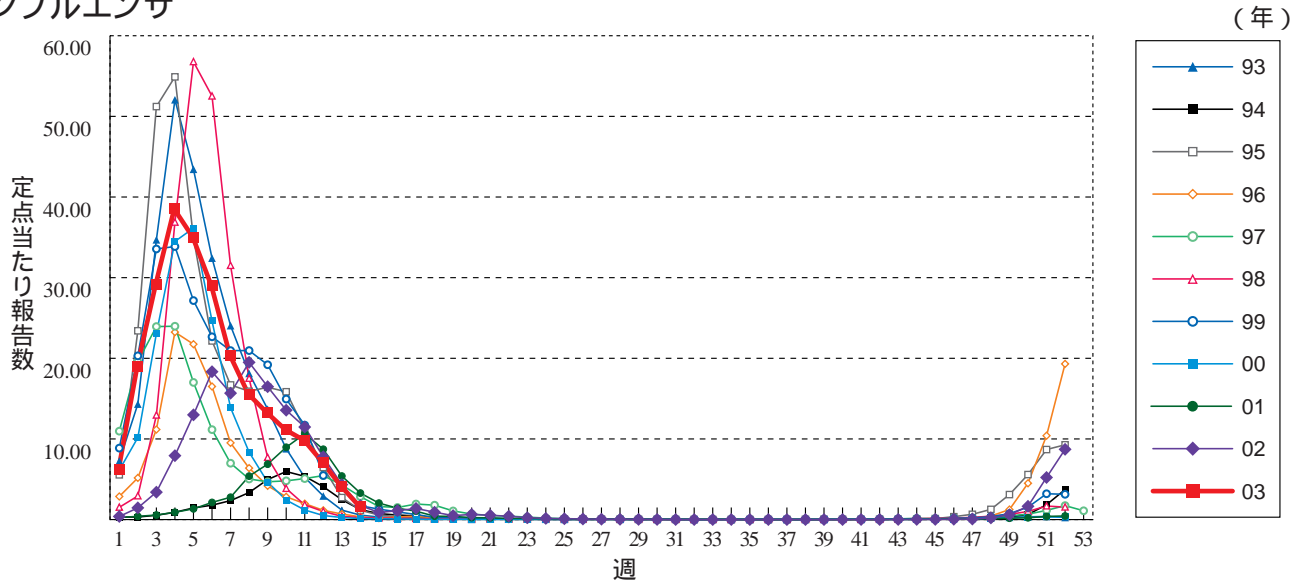
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

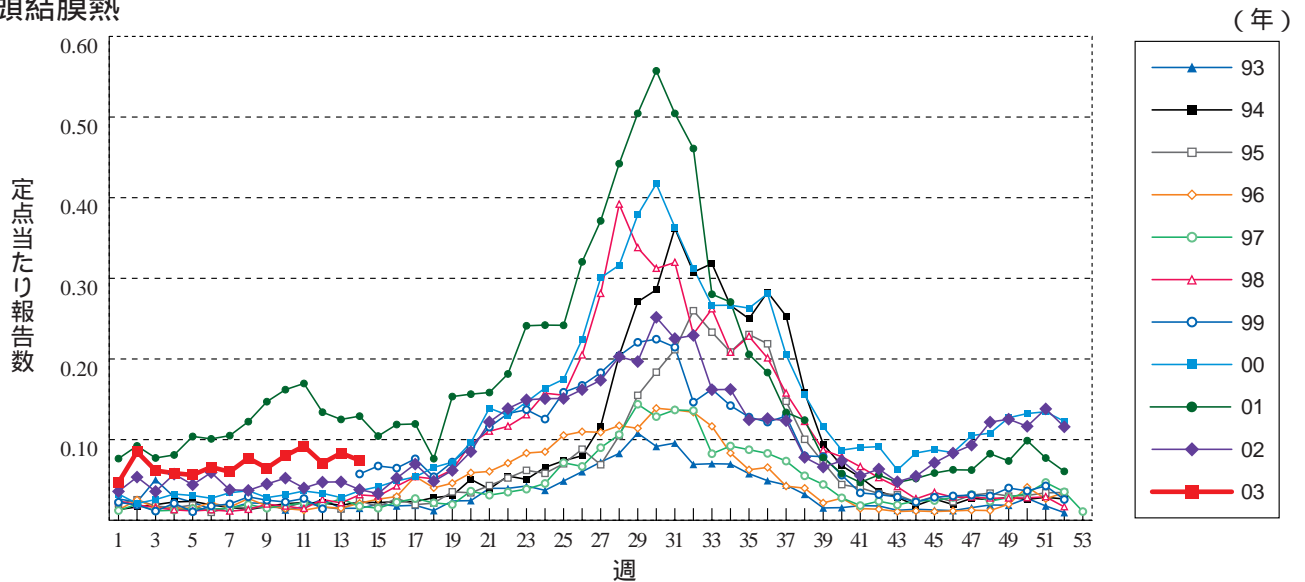
[idsq-query@nih.go.jp](mailto:idsq-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(14週)**

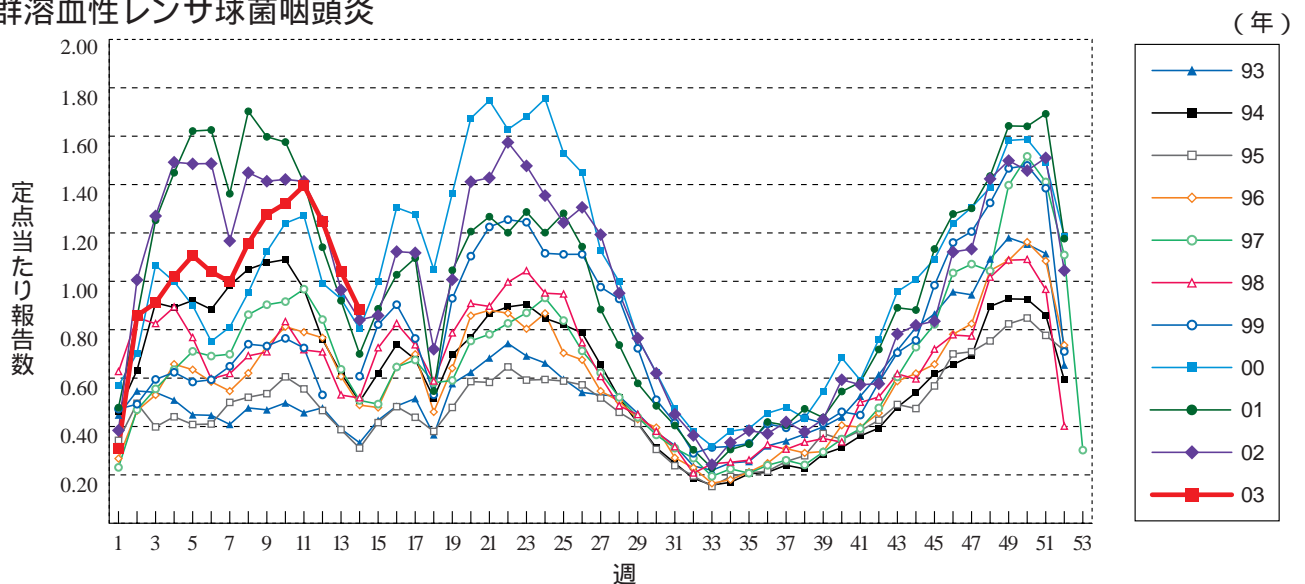
**インフルエンザ**



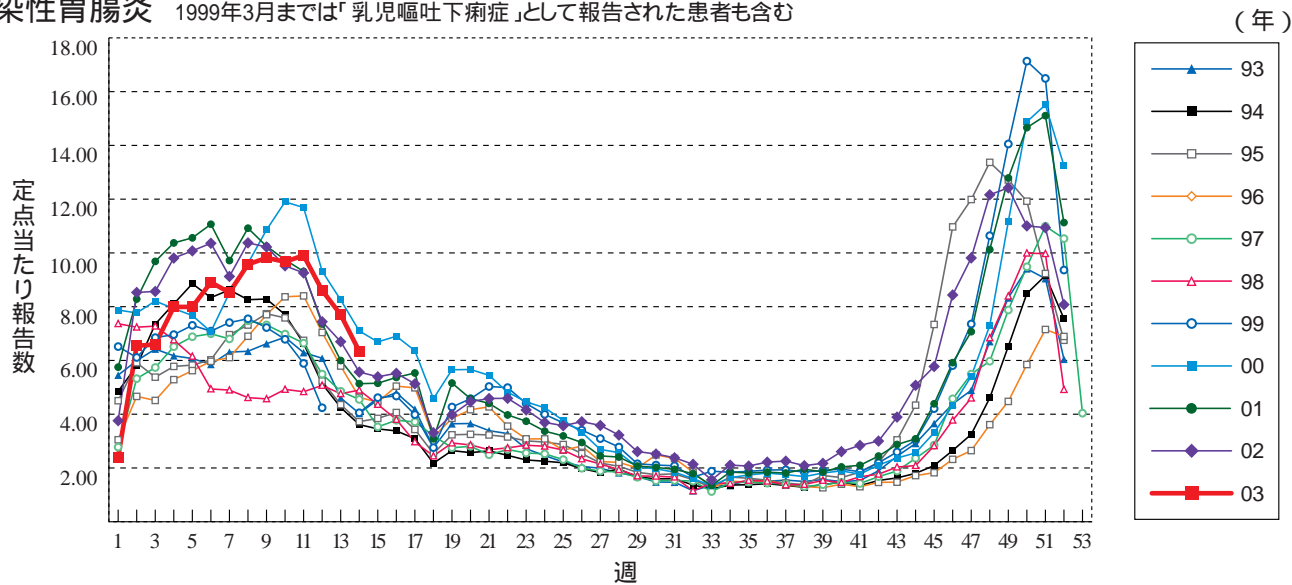
**咽頭結膜熱**



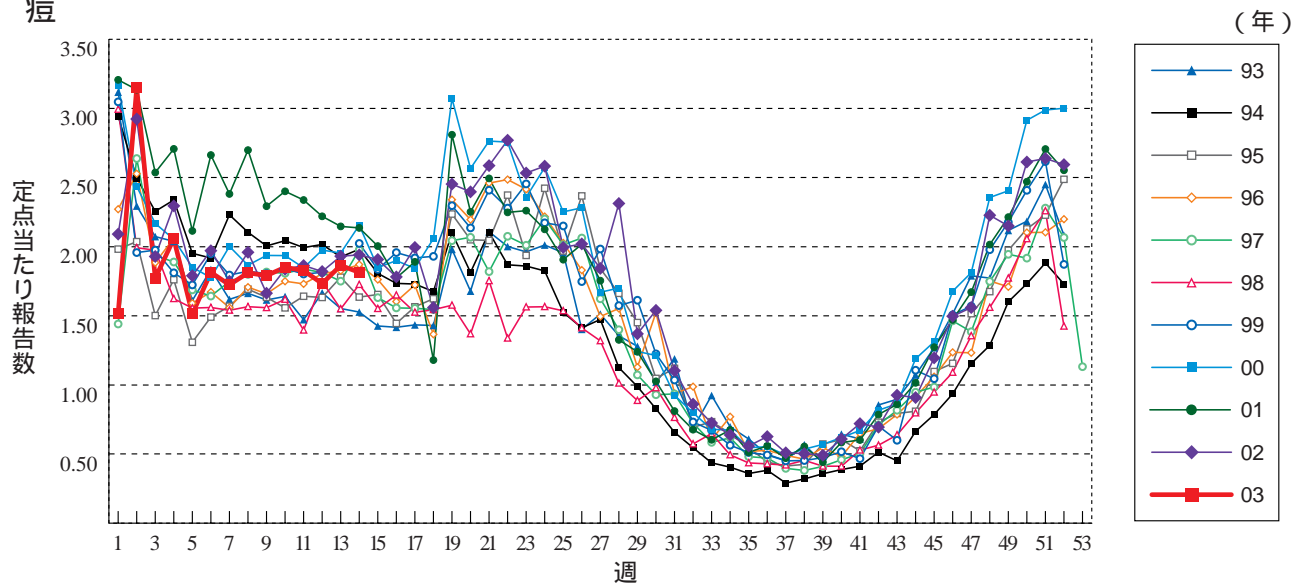
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



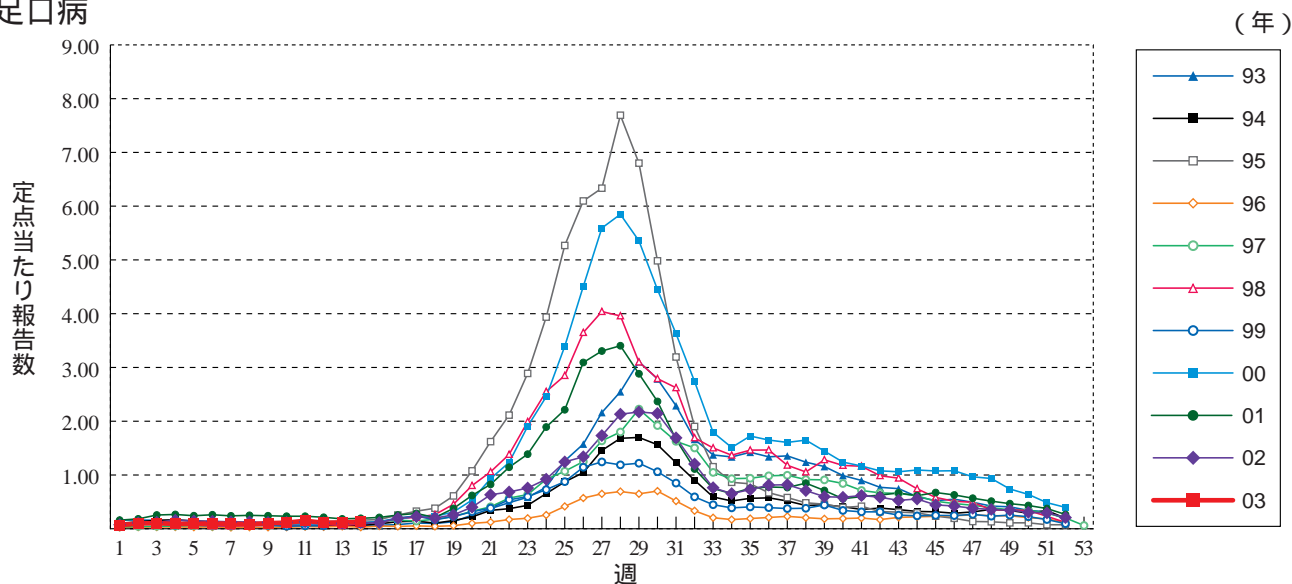
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



**水痘**

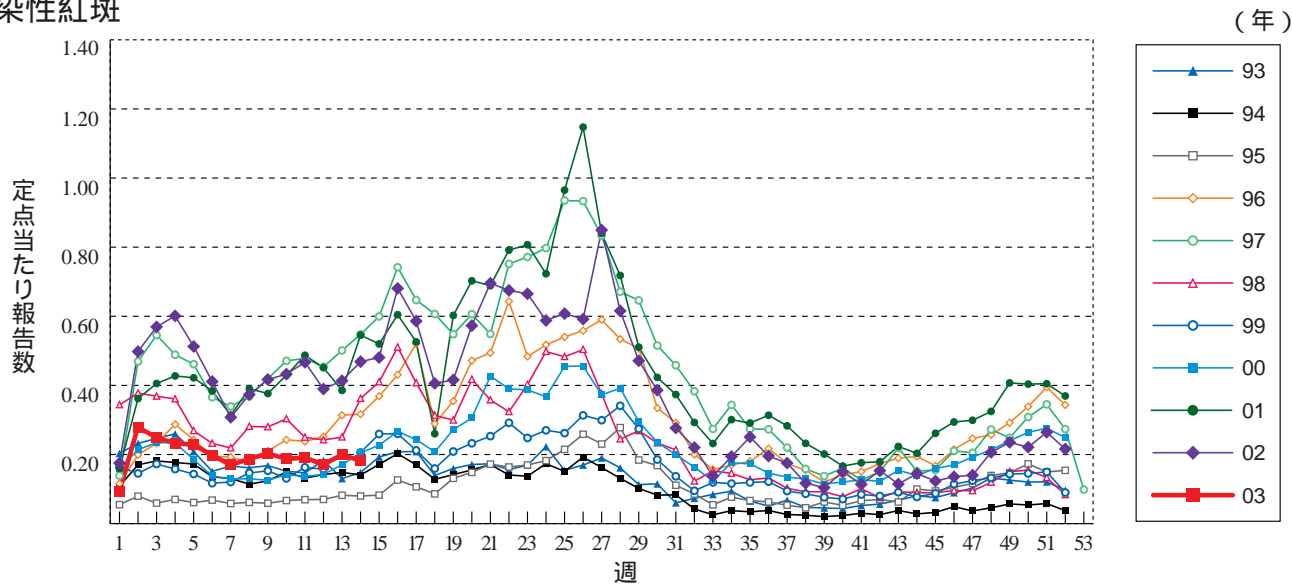


**手足口病**

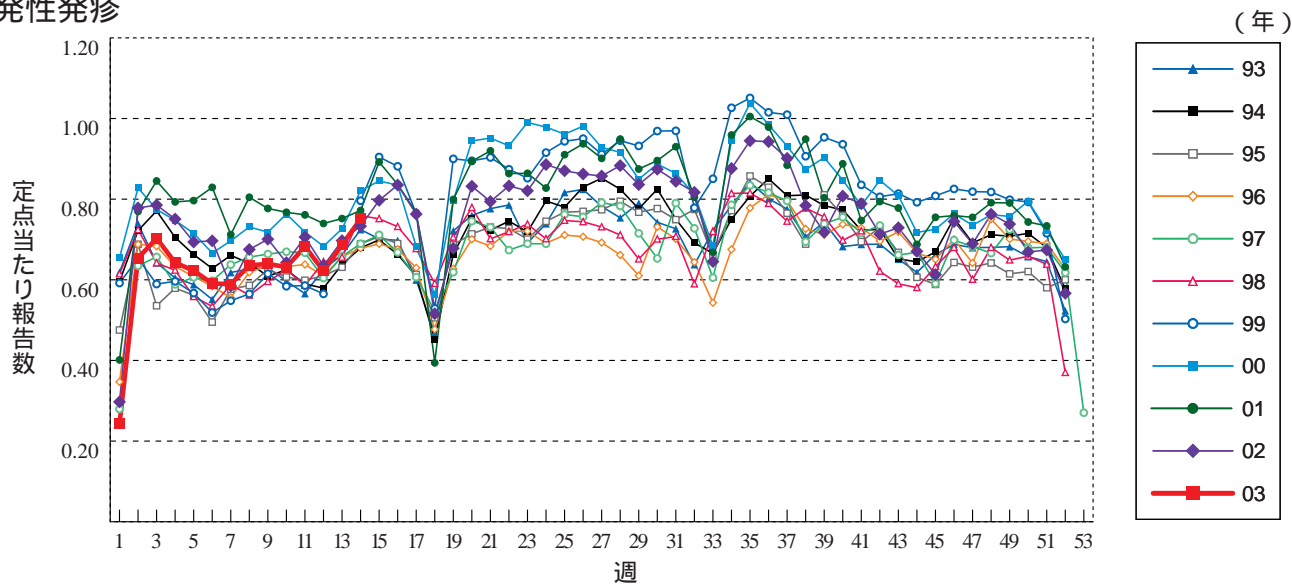




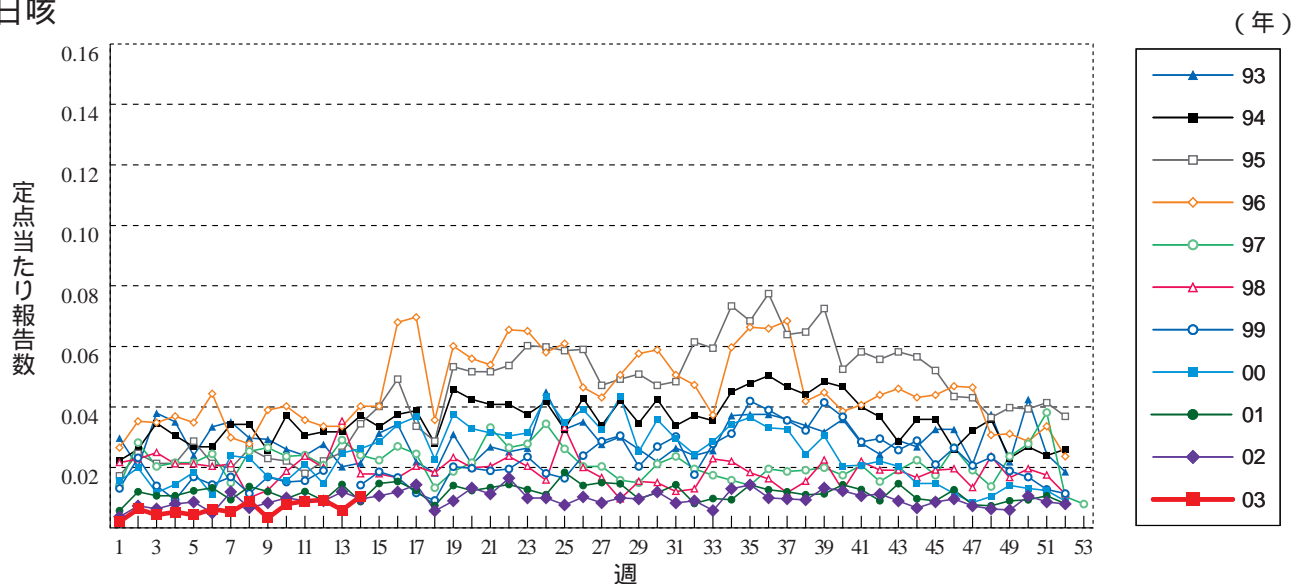
伝染性紅斑



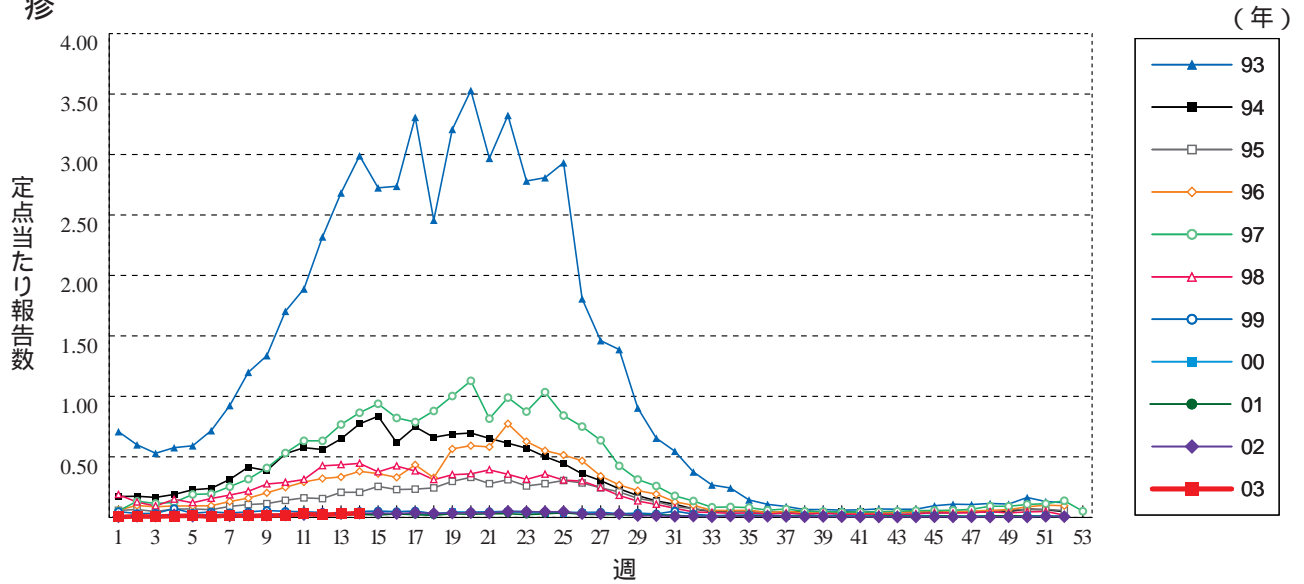
突発性発疹



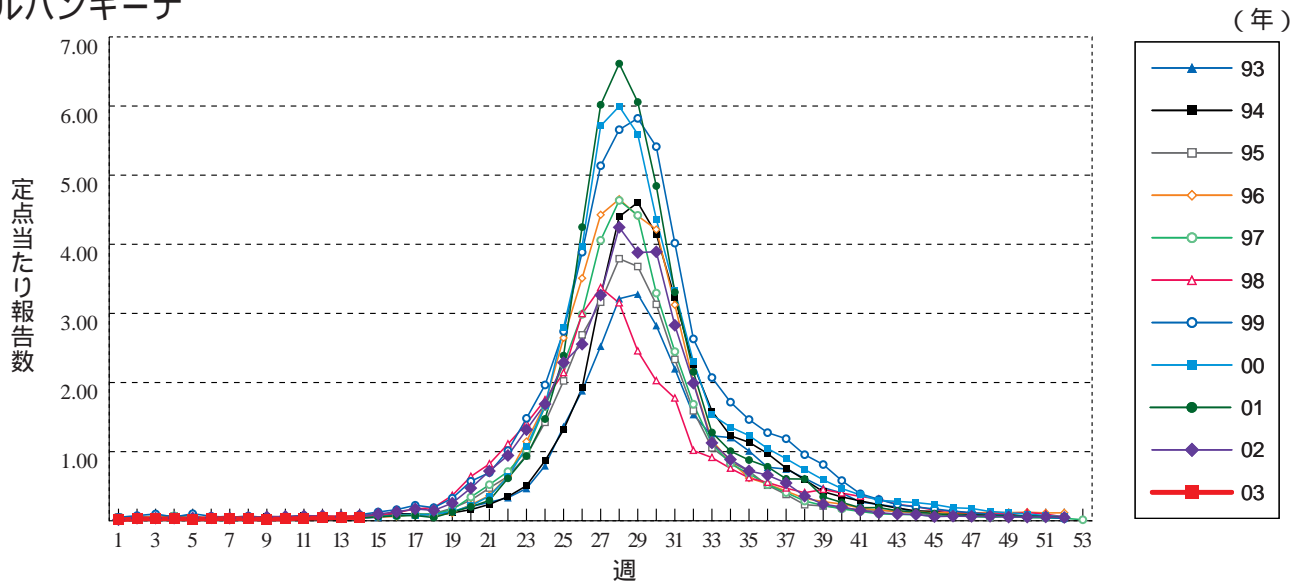
百日咳



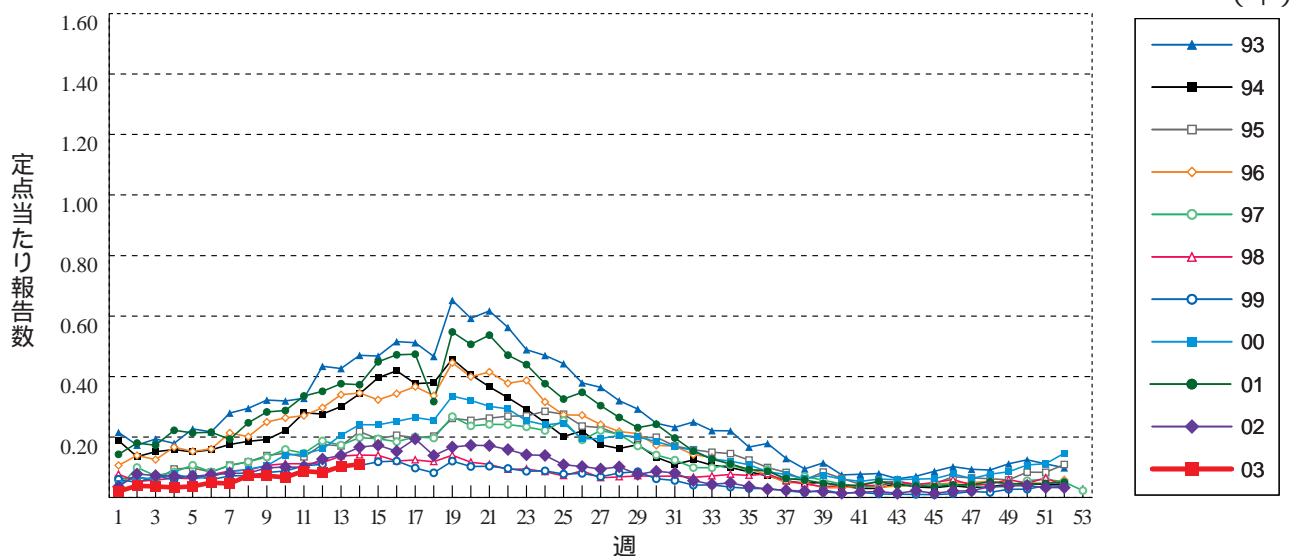
風 疹



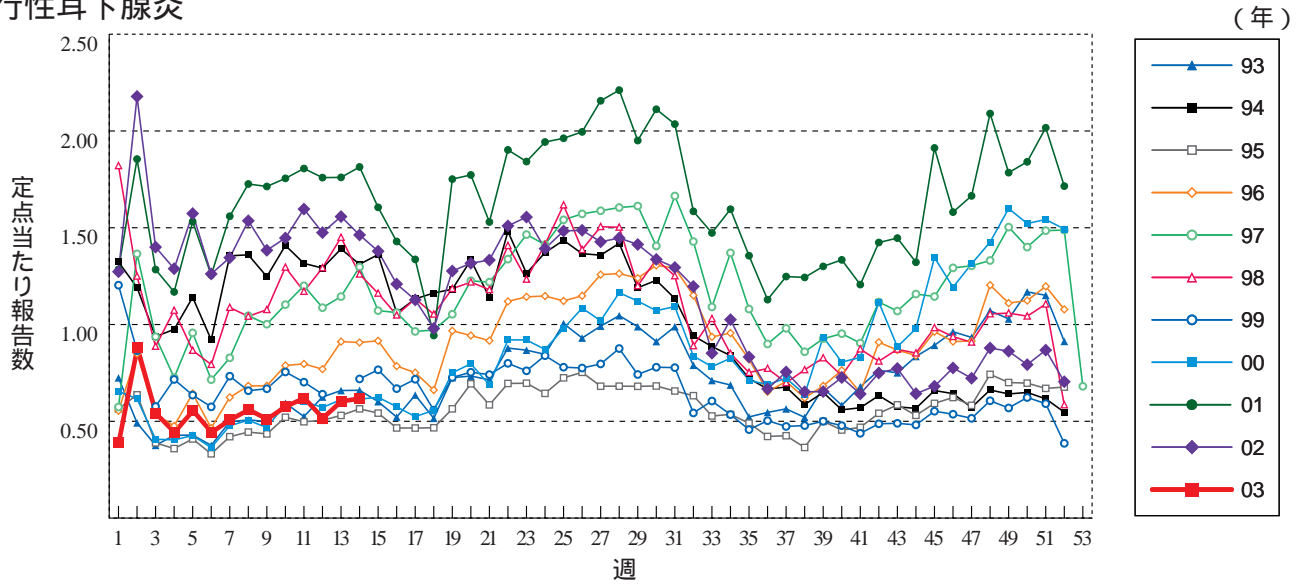
ヘルパンギーナ



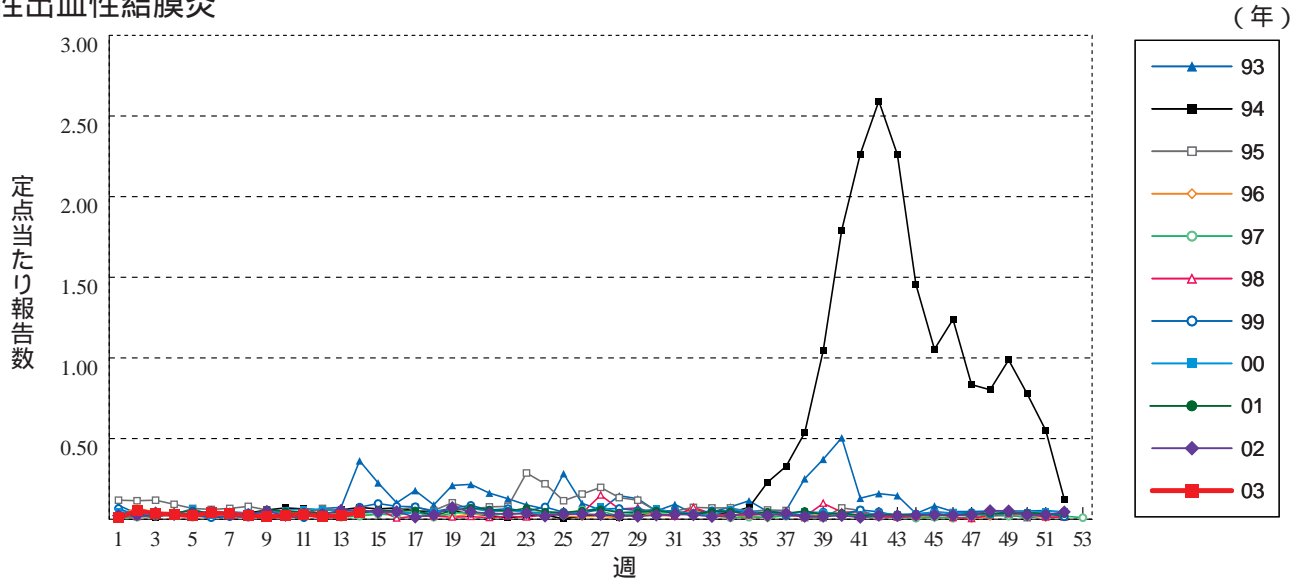
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



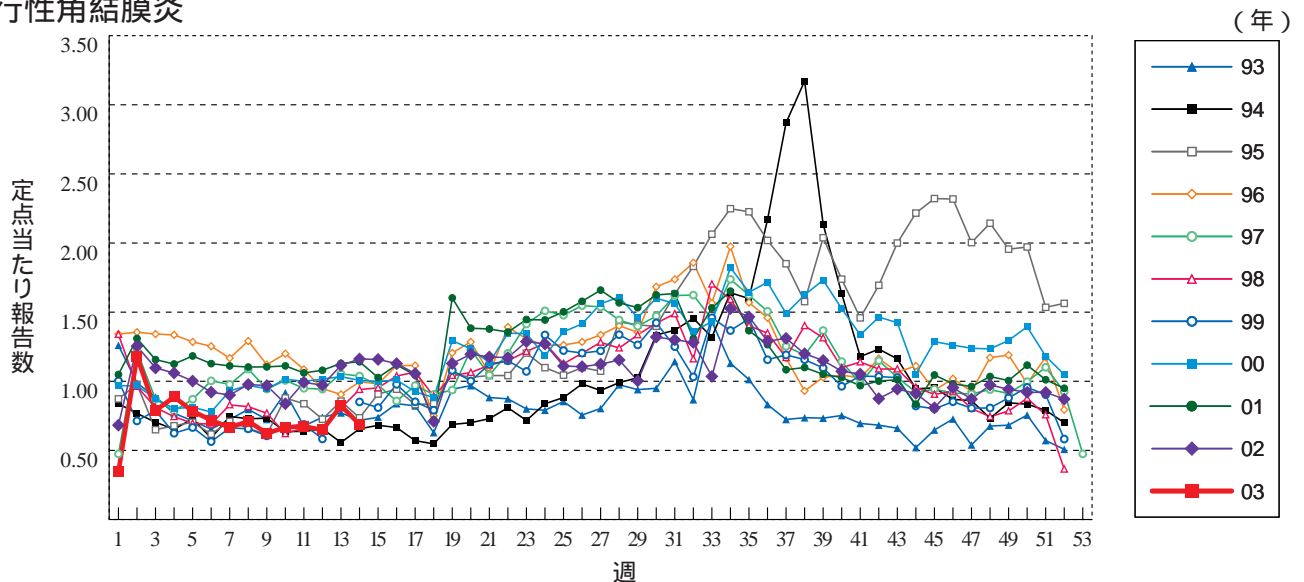
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

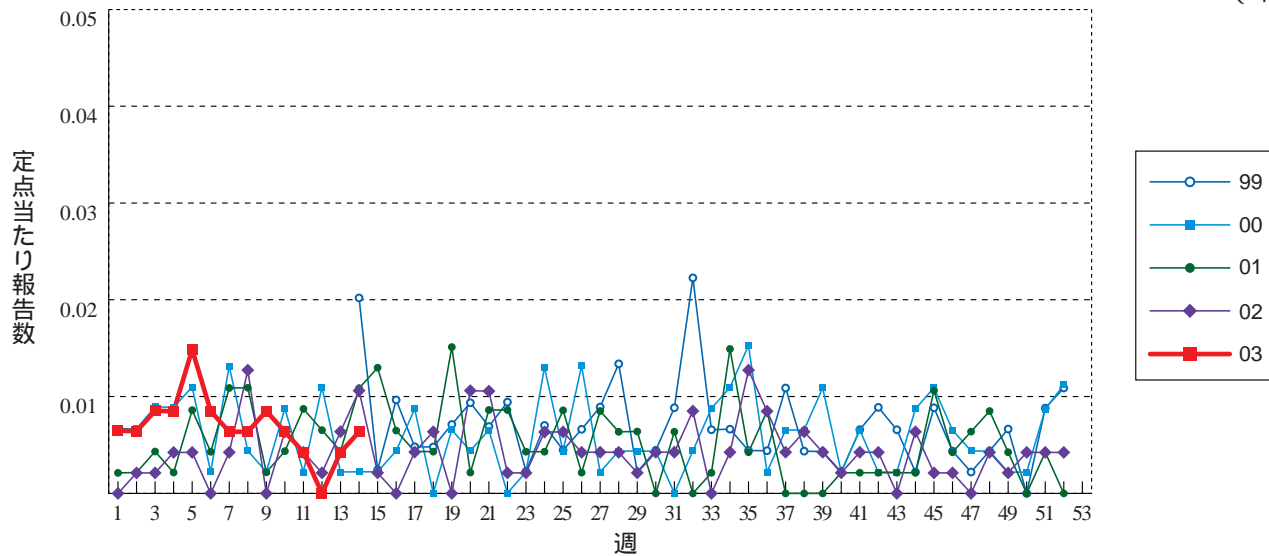


流行性角結膜炎



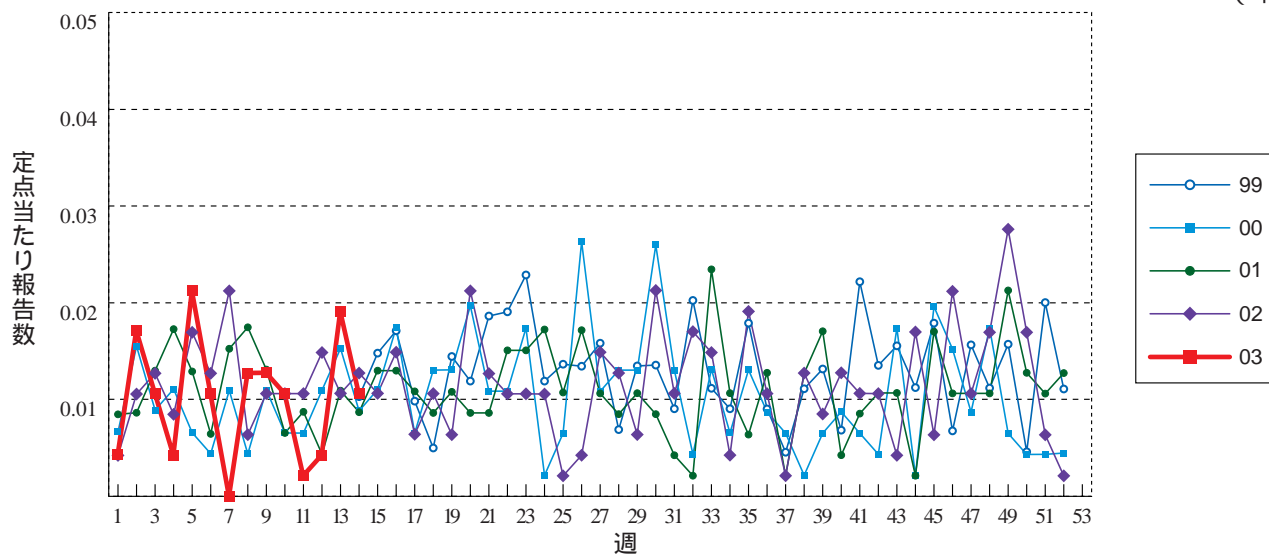
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



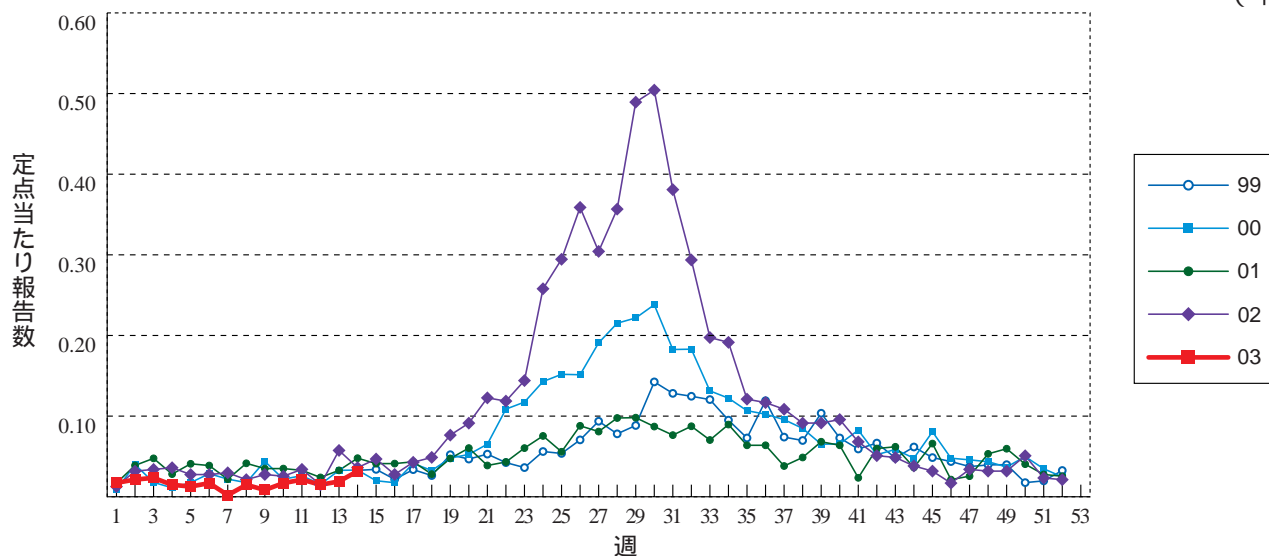
細菌性髄膜炎

(年)



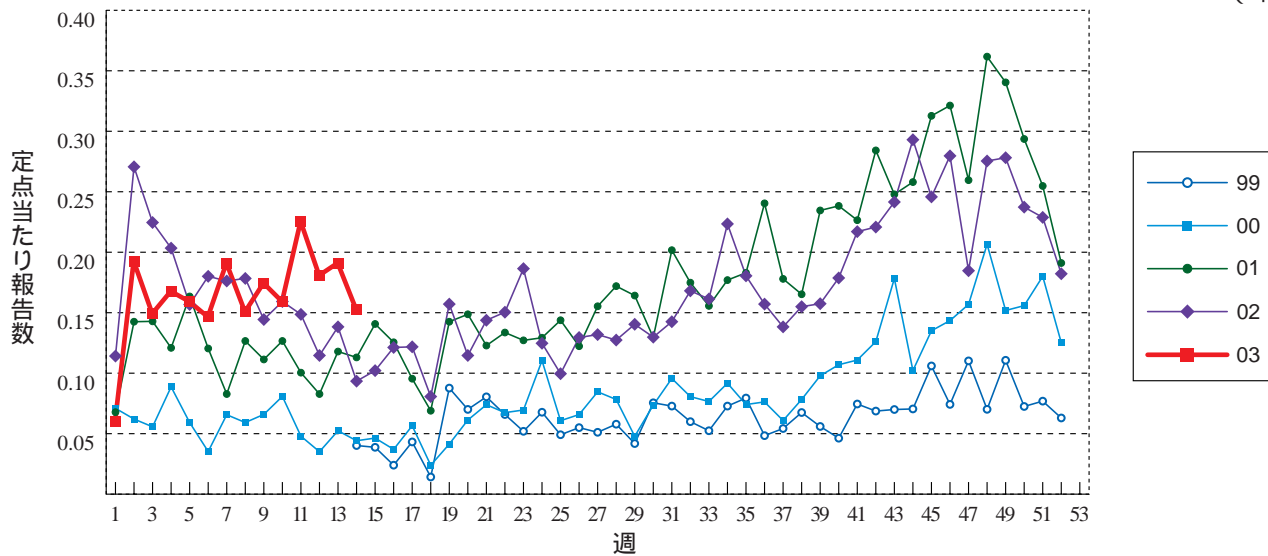
無菌性髄膜炎

(年)



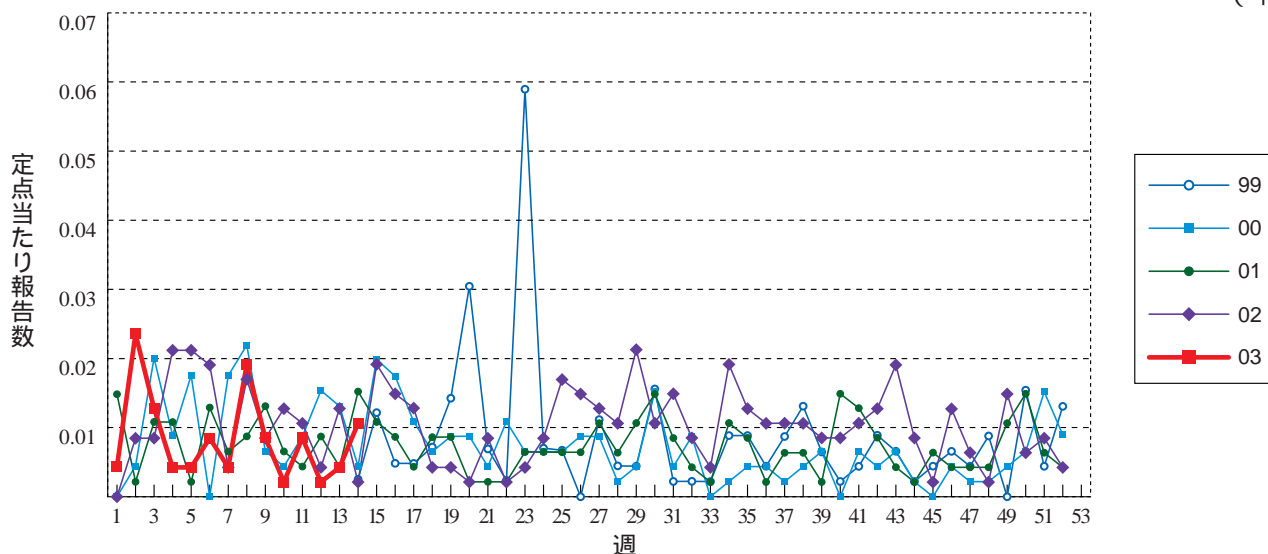
マイコプラズマ肺炎

(年)



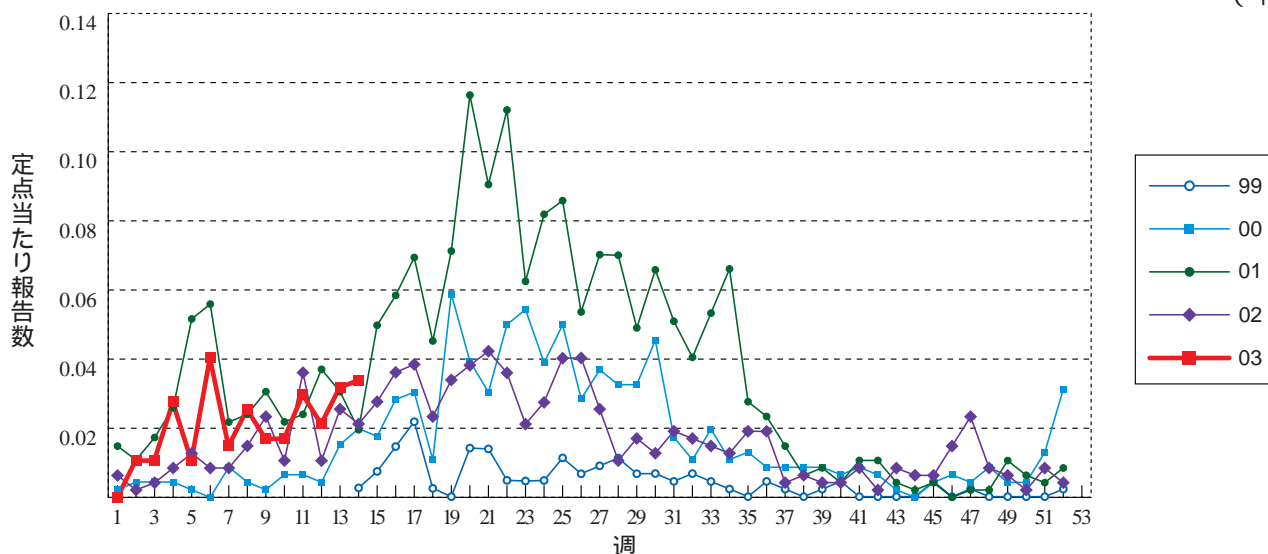
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





### 14週 of Data

注) 表中の報告数は4月10日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年14週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	6	134	-	20	2	9	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	26	-	7	1	3	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	1	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	1	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年14週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	9	114	2	124	1	5	-	-	1	12	-	-	13	243
北海道	-	-	-	-	-	4	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7
秋田県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	3	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
千葉県	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	9	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	2	31
神奈川県	-	-	-	-	-	3	-	18	-	-	-	-	-	1	-	-	1	10
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	1	9	-	15	-	1	-	-	-	-	-	-	1	10
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5
大阪府	-	-	-	-	-	4	1	20	-	-	-	-	-	3	-	-	1	23
兵庫県	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	1	3	-	-	-	16
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
岡山県	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
広島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
山口県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
徳島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
佐賀県	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年14週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	1	1	28	-	23	10	216	-	-	1	14	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	3	77	-	-	-	6	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	18	-	-	1	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	17	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1	4	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	19	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年14週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	8	-	-	-	-	30	-	7	-	-	-	-	-	-	-	5	118
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	20
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
三重県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年14週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	17	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21	-	-	-	35
北海道	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	6
神奈川県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
兵庫県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年14週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年14週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	7524	1.60	226	0.07	2687	0.88	19304	6.34	5522	1.81	390	0.13	554	0.18	2286	0.75	32	0.01
北海道	382	1.66	2	0.01	185	1.28	302	2.08	230	1.59	5	0.03	98	0.68	80	0.55	1	0.01
青森県	321	4.94	-	-	54	1.29	133	3.17	61	1.45	16	0.38	4	0.10	27	0.64	-	-
岩手県	205	3.31	2	0.05	17	0.45	99	2.61	44	1.16	-	-	6	0.16	8	0.21	-	-
宮城県	279	3.07	5	0.08	64	1.08	367	6.22	89	1.51	2	0.03	15	0.25	56	0.95	1	0.02
秋田県	345	6.27	5	0.14	21	0.60	162	4.63	30	0.86	-	-	1	0.03	14	0.40	-	-
山形県	185	3.85	-	-	70	2.33	241	8.03	42	1.40	6	0.20	12	0.40	34	1.13	-	-
福島県	103	1.29	-	-	55	1.15	311	6.48	57	1.19	6	0.13	13	0.27	44	0.92	1	0.02
茨城県	50	0.42	2	0.03	50	0.68	255	3.45	52	0.70	3	0.04	12	0.16	37	0.50	1	0.01
栃木県	24	0.34	1	0.02	23	0.50	209	4.54	64	1.39	4	0.09	3	0.07	32	0.70	4	0.09
群馬県	67	0.67	1	0.02	62	1.00	194	3.13	100	1.61	7	0.11	21	0.34	49	0.79	1	0.02
埼玉県	55	0.22	13	0.08	148	0.93	909	5.68	215	1.34	18	0.11	9	0.06	121	0.76	1	0.01
千葉県	126	0.63	4	0.03	132	1.04	783	6.17	126	0.99	6	0.05	23	0.18	100	0.79	-	-
東京都	58	0.33	8	0.06	65	0.46	592	4.17	121	0.85	12	0.08	12	0.08	79	0.56	-	-
神奈川県	158	0.47	13	0.06	125	0.60	1114	5.38	348	1.68	11	0.05	35	0.17	189	0.91	1	0.00
新潟県	249	2.52	5	0.08	101	1.68	646	10.77	163	2.72	3	0.05	34	0.57	41	0.68	-	-
富山県	92	1.92	4	0.14	116	4.00	295	10.17	58	2.00	2	0.07	5	0.17	26	0.90	-	-
石川県	154	3.21	13	0.45	90	3.10	230	7.93	56	1.93	2	0.07	-	-	20	0.69	-	-
福井県	110	3.44	12	0.55	61	2.77	222	10.09	33	1.50	13	0.59	5	0.23	18	0.82	-	-
山梨県	24	0.59	-	-	12	0.48	82	3.28	19	0.76	-	-	1	0.04	12	0.48	-	-
長野県	120	1.38	-	-	58	1.05	397	7.22	130	2.36	1	0.02	23	0.42	55	1.00	-	-
岐阜県	37	0.44	4	0.08	44	0.83	351	6.62	49	0.92	5	0.09	7	0.13	33	0.62	4	0.08
静岡県	151	1.10	7	0.08	45	0.52	521	6.06	191	2.22	9	0.10	21	0.24	70	0.81	-	-
愛知県	126	0.66	10	0.05	184	1.01	965	5.30	379	2.08	22	0.12	24	0.13	103	0.57	1	0.01
三重県	70	0.96	6	0.13	39	0.87	513	11.40	89	1.98	5	0.11	11	0.24	59	1.31	-	-
滋賀県	75	1.42	-	-	16	0.50	211	6.59	52	1.63	6	0.19	6	0.19	17	0.53	-	-
京都府	114	0.90	1	0.01	33	0.43	498	6.55	88	1.16	13	0.17	5	0.07	46	0.61	1	0.01
大阪府	142	0.48	11	0.06	85	0.44	1081	5.54	227	1.16	27	0.14	13	0.07	125	0.64	1	0.01
兵庫県	313	1.58	16	0.13	60	0.47	1087	8.49	275	2.15	3	0.02	17	0.13	97	0.76	1	0.01
奈良県	16	0.29	4	0.11	14	0.40	272	7.77	51	1.46	2	0.06	2	0.06	20	0.57	-	-
和歌山県	50	1.00	4	0.13	5	0.16	177	5.71	39	1.26	1	0.03	2	0.06	12	0.39	-	-
鳥取県	188	6.48	-	-	31	1.63	245	12.89	37	1.95	3	0.16	8	0.42	18	0.95	-	-
島根県	97	2.55	-	-	5	0.22	174	7.57	19	0.83	-	-	-	-	20	0.87	-	-
岡山県	149	1.77	1	0.02	23	0.43	490	9.07	107	1.98	2	0.04	17	0.31	26	0.48	-	-
広島県	62	0.52	7	0.09	60	0.80	709	9.45	116	1.55	21	0.28	16	0.21	54	0.72	-	-
山口県	403	5.76	5	0.10	47	0.96	492	10.04	129	2.63	10	0.20	24	0.49	51	1.04	-	-
徳島県	90	2.37	1	0.04	11	0.48	149	6.48	54	2.35	3	0.13	4	0.17	13	0.57	-	-
香川県	49	0.96	2	0.06	14	0.44	229	7.16	34	1.06	8	0.25	1	0.03	22	0.69	-	-
愛媛県	204	3.19	2	0.05	40	1.03	366	9.38	76	1.95	3	0.08	1	0.03	40	1.03	-	-
高知県	91	1.86	2	0.06	78	2.52	148	4.77	104	3.35	2	0.06	10	0.32	27	0.87	-	-
福岡県	589	2.97	22	0.18	107	0.89	855	7.13	410	3.42	17	0.14	8	0.07	135	1.13	9	0.08
佐賀県	132	3.38	1	0.04	16	0.70	122	5.30	100	4.35	8	0.35	1	0.04	29	1.26	-	-
長崎県	140	2.00	1	0.02	22	0.50	262	5.95	65	1.48	11	0.25	2	0.05	26	0.59	-	-
熊本県	233	2.88	7	0.14	51	1.04	377	7.69	147	3.00	3	0.06	-	-	67	1.37	2	0.04
大分県	213	3.67	2	0.06	34	0.94	421	11.69	95	2.64	13	0.36	-	-	47	1.31	2	0.06
宮崎県	314	5.32	1	0.03	68	1.89	520	14.44	161	4.47	55	1.53	6	0.17	44	1.22	-	-
鹿児島県	220	2.27	19	0.32	30	0.51	458	7.76	157	2.66	14	0.24	5	0.08	35	0.59	-	-
沖縄県	149	2.57	-	-	16	0.47	68	2.00	233	6.85	7	0.21	11	0.32	8	0.24	-	-



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年14週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	108	0.04	138	0.05	334	0.11	1879	0.62	28	0.04	436	0.69	3	0.01	5	0.01	15	0.03
北海道	-	-	5	0.03	3	0.02	75	0.52	-	-	11	0.38	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	0.02	2	0.05	43	1.02	1	0.09	4	0.36	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	-	-	36	0.95	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	4	0.07	13	0.22	82	1.39	5	0.45	1	0.09	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	1	0.03	54	1.54	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.29
山形県	-	-	-	-	-	-	13	0.43	-	-	8	1.00	-	-	1	0.10	-	-
福島県	-	-	-	-	46	0.96	34	0.71	1	0.08	8	0.67	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	-	-	5	0.07	30	0.41	-	-	32	2.00	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	16	0.35	22	0.48	-	-	17	1.42	2	0.29	-	-	-	-
群馬県	-	-	6	0.10	3	0.05	95	1.53	1	0.07	27	1.93	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	8	0.05	37	0.23	41	0.26	3	0.08	5	0.14	1	0.11	1	0.11	-	-
千葉県	4	0.03	6	0.05	31	0.24	48	0.38	1	0.03	22	0.67	-	-	-	-	-	-
東京都	8	0.06	4	0.03	17	0.12	40	0.28	2	0.14	8	0.57	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	18	0.09	5	0.02	30	0.14	68	0.33	1	0.02	35	0.83	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	-	-	-	-	51	0.85	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
富山県	1	0.03	2	0.07	-	-	3	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	6	0.21	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	2	0.09	-	-	3	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	2	0.08	11	0.44	-	-	8	2.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	0.02	16	0.29	5	0.45	4	0.36	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	2	0.04	-	-	26	0.49	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	2	0.02	6	0.07	71	0.83	-	-	6	0.30	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	6	0.03	1	0.01	110	0.60	2	0.06	30	0.86	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	-	-	-	-	8	0.18	1	0.08	4	0.33	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.03	1	0.03	1	0.03	30	0.94	-	-	8	1.14	-	-	-	-	1	0.14
京都府	-	-	1	0.01	3	0.04	27	0.36	-	-	9	0.50	-	-	-	-	2	0.33
大阪府	1	0.01	6	0.03	7	0.04	57	0.29	-	-	19	0.39	-	-	-	-	-	-
兵庫県	4	0.03	7	0.05	4	0.03	183	1.43	-	-	11	0.31	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	24	0.69	1	0.11	5	0.56	-	-	-	-	-	-
和歌山県	7	0.23	-	-	-	-	15	0.48	1	0.25	1	0.25	-	-	1	0.09	1	0.09
鳥取県	-	-	4	0.21	-	-	31	1.63	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	2	0.09	-	-	9	0.39	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	40	0.74	3	0.06	13	0.24	40	0.74	1	0.08	15	1.25	-	-	-	-	-	-
広島県	6	0.08	5	0.07	2	0.03	48	0.64	1	0.05	18	0.90	-	-	-	-	-	-
山口県	1	0.02	5	0.10	1	0.02	32	0.65	-	-	18	2.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	2	0.09	1	0.04	4	0.17	9	0.39	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	3	0.09	6	0.19	8	0.25	-	-	6	2.00	-	-	-	-	1	0.20
愛媛県	-	-	-	-	2	0.05	7	0.18	1	0.14	13	1.86	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	0.03	3	0.10	65	2.10	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.13
福岡県	2	0.02	9	0.08	2	0.02	38	0.32	-	-	26	1.00	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	0.09	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	44	1.00	-	-	10	1.25	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	15	0.31	2	0.04	7	0.14	-	-	5	0.56	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	9	0.25	6	0.17	47	1.31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.06	7	0.19	38	1.06	45	1.25	-	-	5	1.25	-	-	-	-	2	0.29
鹿児島県	2	0.03	1	0.02	24	0.41	118	2.00	-	-	10	1.67	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	2	0.06	2	0.06	7	0.21	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年14週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	72	0.15	5	0.01	16	0.03
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	5	0.25	-	-	-	-
宮城県	5	0.42	1	0.08	-	-
秋田県	4	0.57	-	-	-	-
山形県	3	0.30	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	2	0.29
茨城県	1	0.10	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.15	2	0.15	-	-
東京都	3	0.12	-	-	7	0.28
神奈川県	-	-	-	-	3	0.25
新潟県	9	0.75	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	8	0.80	2	0.20	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.27	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	5	0.45	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	6	1.20	-	-	-	-
広島県	5	0.24	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	1	0.13
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	3	0.43
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第14号 平成15年4月18日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 <厚生労働省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。